

(参考)シヨールテン／ホメオパシーとミネラルより引用

Magnesium phosphoricum(マグネシウム フォスホリカム:リン酸マグネシウム)

Mag-p. (マグネシウム:リン酸マグネシウム)について私たちがよく知っていることは、一般的な身体的症状のみである。圧迫、二つ折りになる、温かさで好転する典型的な痙攣性の痛みなどである。しかし、精神像はあまり知られていない。Mag-p.の根底にある原因とは何だろうか？

Mag-p.の概念

---

Magnesium

平和主義 攻撃性 喪失への恐怖 痛み

---

Phosphoricum

コミュニケーション 同情的 友人、知人、隣人 兄弟

言葉と学習 ホームシック 好奇心と旅行 落ち着きのなさ恐怖

---

Mag-p.としてのグループ分析

グループ分析によって Mag-p のテーマがわかる:自分の攻撃性が人との接触の可能性を奪ってしまうという恐怖。彼らは考えや感情をやり取りするために、たくさんの接触を必要とする。しかし自分は何か間違っただけを言っただけで、他人を怒らせてしまうのではないかと恐れる。そして、友情関係を断たれてしまうだろうと思う。

そのため、彼らはとても慎重である。自分の考えが誰かの気分を害するかもしれないとすぐに思う。彼らはさらに緊張し、ぎこちなくなる。しまいには普通の付き合いにもとても努力を要するようになり、すべてを避けようとしはじめる。それは対人恐怖にまで発展する。

このテーマの別の側面は、攻撃性が学習の可能性を奪ってしまうだろうというものがある。もし怒りを頻繁に表してしまうと、勉強を続けることが許されなくなってしまうだろうという恐怖がある。たとえば、勉強をしたいが、大学まで進学することが許されないことを懸念している生徒である。

別の側面には、彼らに攻撃的な兄がいる場合である。彼らはその兄によって抑圧を感じている。いつも兄に軽くあしらわれるため、自分自身の考えや意見を表現することができないと思う。このことも、前の章で記述したようなひきこもりや臆病な行動の原因となる。

Mag と Phos のどちらも、接触をととても必要とし、その接触を喪失することを恐れているということがとても顕著である。このテーマは、Lassauw による夢のブルーベング(個人的報告)のなかに明白に表れている:

「私は三方向が囲まれている校舎(Phos.)の中庭に立っていました。それは少し刑務所のような感じでした。そこには誰もおらず、突然ひどく孤独を感じました(Mag.と Phos.)。家から離れ、どこに行けばよいかわかりません。それまで感じたことのないような、最悪の気持ちになりました。その建物から1人の黒い服を来た人が出てきて、去っていきました。それから私は、町をさまよいはじめました。1人の女性が近づいてきました(Phos.)。彼女は美しい公園を案内してくれると言いました。彼女はとてもいい人でした(Mag.)。私たちは長い階段を降りて、公園へ行きました。すべてが美しかったのですが、それで気分がよくなるということは少しもありませんでした。私はずっとこう思っていました：‘これらはすべては私のためにあるのではない。すべて終われば、私が中庭で感じた孤独感とともに見捨てられるだろう、」

このブルービングのなかの孤独感は、ほかのマグネシウムやリンよりもさらに強いものである。